

○中央大学法学会 大正九年十二月十九日午後一時より大講堂に於て泉二博士審判の下に「通行人あり夜中往来に於て一棄児を発見したるも故意に之を保護せずして立去りたる為め該嬰児は通行人の予見したる如く凍死を遂けたり通行人の刑法上の責任如何」に付き都下各大学聯合懸賞大討論会を開催したるが参加したる大学は早稲田、明治、日本、法政及び本学の五校にして討論者は合計十二名、中積極説四名、消極説七名、折衷説一名、受賞者は一等消極説日本大学明禮輝三郎君、二等同本学高橋静男君、三等同明治大学金田光明君、三等同法政大学角田章吉君、三等積極説本学大谷次市君なり而して泉二博士の講評は次号論説欄に掲載の予定なりと云ふ（委員報）